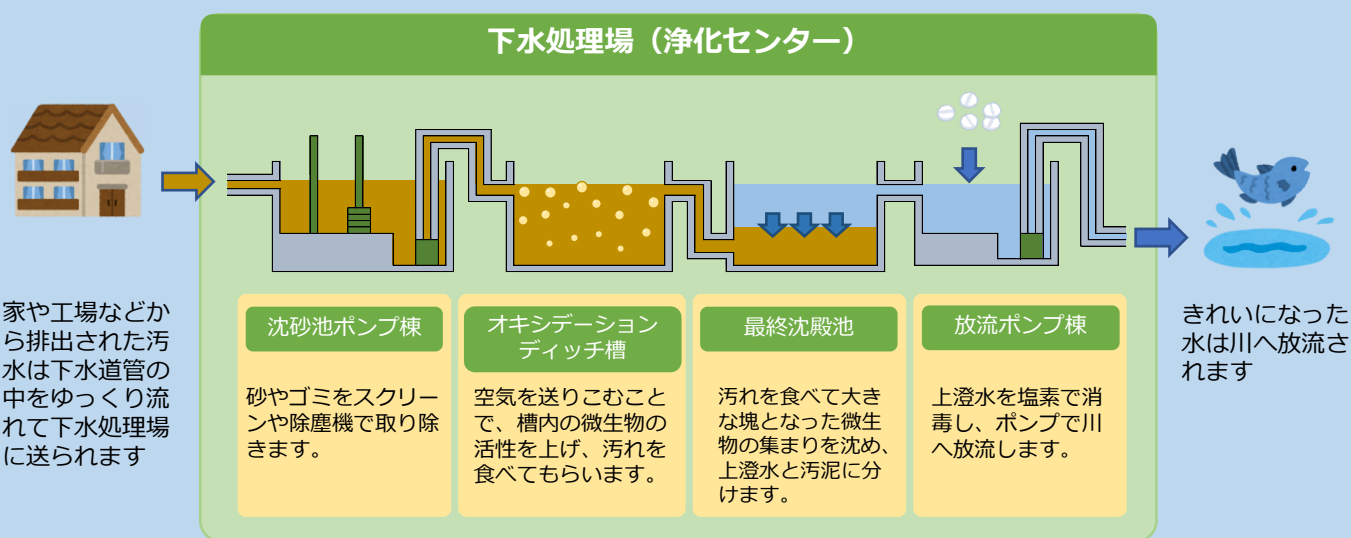


9月10日は下水道の日

毎年9月10日は「下水道の日」です。
下水道は私たちが生活で使って汚れた水をきれいにして
自然に戻すというとても重要な役割を担っています。
下水道は普段は見えない「縁の下の力持ち」。
今日は少しでも下水道について考えてみましょう。

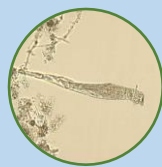
下水処理の仕組み

※処理場見学を希望される方は下記問合せ先までご連絡ください。

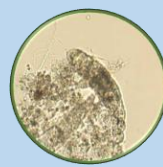


汚れを食べる微生物

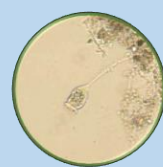
下水処理場で汚れを食べる微生物は約40種類おり、右の写真はその微生物の一例です。写真のほかにもイタチムシ、エピスティリス、バジニコラと呼ばれる微生物などがいます。これらの微生物は、活性汚泥1mlの中に約5,000匹いると言われています。



ヒルガタワムシ



クマムシ



ツリガネムシ

下水道の正しい使い方

油類を流さない

油が冷えて固まると排水管や下水道管を詰まらせる原因となります。また、油分は微生物の活性を阻害し、処理場の機能を低下させる場合があります。油は紙や布に染み込ませるか、固めてゴミに出しましょう。

異物を流さない

トイレトーパー以外の紙や布類は処理場での処理ができません。また、排水管や下水道管を詰まらせる原因となります。

マンホールを開けない

マンホールのふたを勝手に開けないでください。下水道管の中に発生したガスを吸ってしまうだけでなく、転落事故の原因となりとても危険です。また、雨水が流入し処理場の能力を超えると汚水処理ができなくなります。